

平成 29 年 2 月 22 日（水） ・ 武蔵野銀行東大宮支店（会議室）にて開催

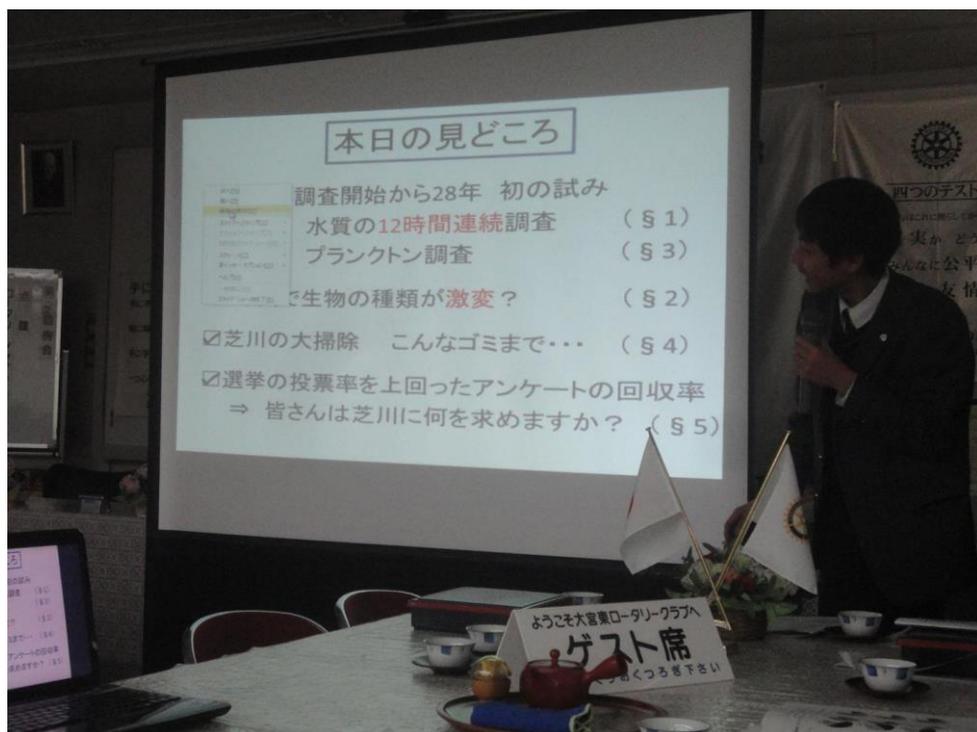
大宮東ロータリークラブが主催する例会に招待を頂き、「2016 年度 芝川の総力調査」をテーマに、発表をすることができました。先日開催された川の再生交流会（埼玉県主催）では、2011 年度から調査を継続している中で分かってきたことを中心に講演をさせて頂いたのに対して、今回は今年度の活動で新たに取組んだことや、新たに判明したことを中心に発表を致しました。



発表者

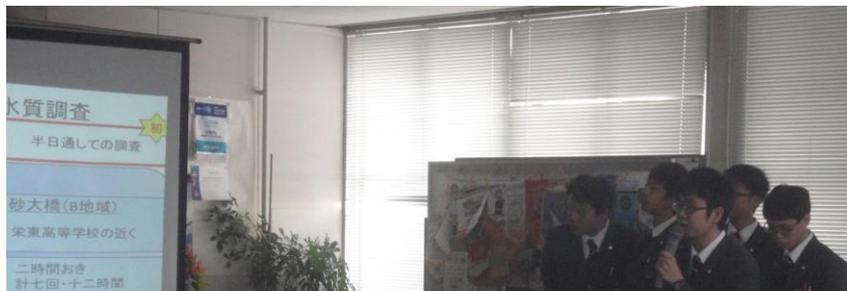
今井旅生（高 2-7）  
齋木悠亮（高 2-9）  
田中健太（高 1-1）  
広川周作（高 1-1）  
長澤啓太（高 1-2）

例会の開始前（昼食）の様子です。事前準備では、発表の当日までいろいろな苦勞がありましたが、その疲れも見せることなく用意して下さった料理を完食していました。その様子を見て、「発表は大丈夫だ！」と感じました。



研究発表は、例会の次第の最後に「卓話」として務めさせて頂きました。最初に、部長の今井君が、講演内容の全体像を話しました。

今年度初めて試みた水質の  
通日調査について堂々と  
プレゼン ⇒



## お品書き

本日の見どころ

- § 1.水質調査 ～半通日調査～ **New**
- § 2.生息生物調査
- § 3.プランクトン調査 **New**
- § 4.清掃活動調査
- § 5.流域アンケート調査
- § 6.全体のまとめ



↑

今年度初めて挑戦したプランクトン調査に  
用いたプランクトンネットの実物を紹介

今回は、川の再生交流会で登壇した生徒が発表を務めさせて頂きました。今回の舞台を前に、1月に初めて発表練習をした姿と比べて、別人のようにプレゼンが上手になった生徒もいて、経験を積むことの大切さも改めて実感致しました。また、発表の残り時間が少なくなってきたところで、内容の最後の章（§5）を話した生徒が適度に早いペースで進めてくれるなど、本番中の臨機応変なふるまいも身につけてきました。

2017年度は、今年度の成果や反省点を活かして、一層充実した芝川研究へと発展することを願っております。

顧問 荒井 賢一